

統計

伊万里

I M A R I

平成 20 年
(2008年)

伊万里市

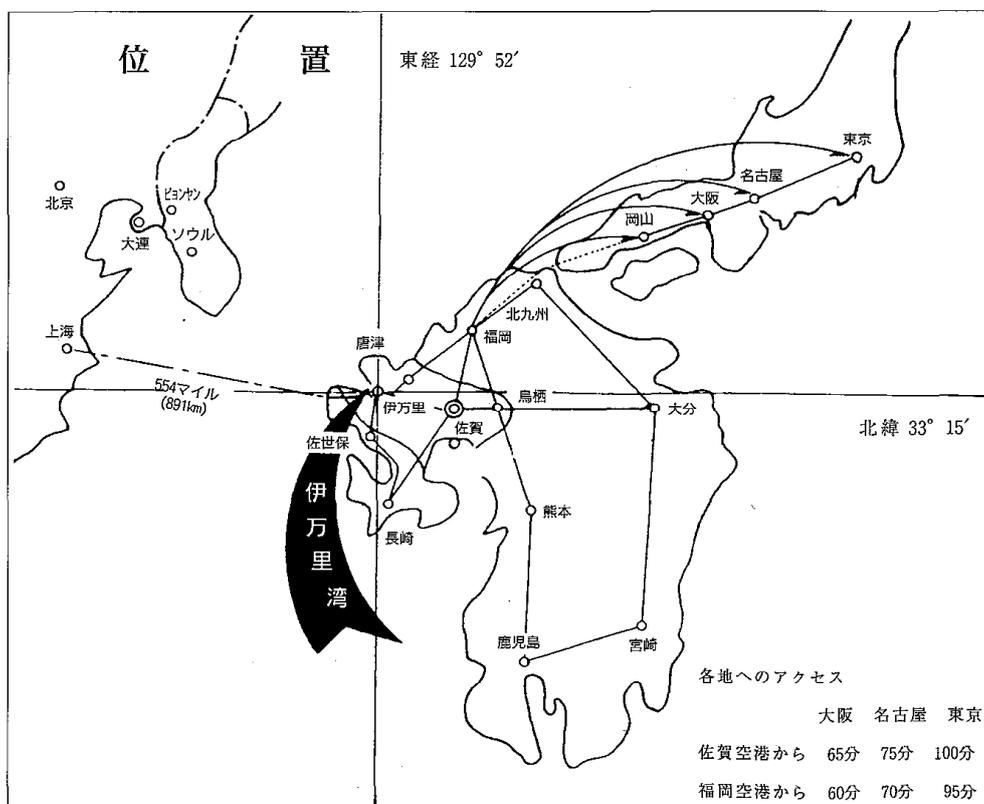
伊万里市は、佐賀県の西北部にあって、波静かな伊万里湾が深く入り組んだ豊かで美しい自然に抱かれており、古くから大陸貿易の基地として発展し、江戸時代には「古伊万里」の積出港として大いに栄え、「イマリ」の名を世界に広めました。

鍋島藩窯300有余年の歴史と伝統を誇る伊万里焼をはじめ、伊万里梨や伊万里牛など「食のまち伊万里」としての特産品も全国的に有名です。“秘窯の里”として知られる大川内山には藩窯がおかれ、将軍家献上のほか、公家や諸大名への贈答品として至宝「鍋島」が生産されました。また、伊万里湾には全国でも数少ない、生きた化石と称されるカブトガニが生息しており、訪れる人々の心を和ませてくれます。

近年では、伊万里湾総合開発を軸に大規模な臨海工業団地を造成し、造船やIC関連産業、木材関連産業、水産加工業等の進出もあり、本市の基幹産業を担っています。平成9年に開設したコンテナターミナルには、韓国釜山航路をはじめ、5つの国際航路が就航しており、平成19年には取扱量が九州第4位（全国第25位）にまで成長しております。

一方、陸上交通では、西九州自動車道の市域着工がいよいよ始まりましたが、完成の暁には、新たな観光ルートの実現や物流のスピードアップから、伊万里ブランドを全国に広めることが出来るものと期待されています。

このように、「行きたいまち伊万里、住みたいまち伊万里」の実現のため、新たな産業の創出や地域産業の振興を図り、「伊万里」の名を全国へ、世界へ発信しています。





市長 塚部 芳和

市の花



つつじ

市の木



マキの木

伊万里市

